

水嶋丈雄(みずしまたけお)先生のプロフィール

- 1982年 大阪医科大学卒業。長野県厚生連佐久総合病院入局。
卒後10年ローテイトにて外科、内科、整形外科、麻酔科、皮膚科、小児科、
産婦人科など全科において研修。
- 1988年 中国北京中医学院に留学し、中医師資格取得。
- 1989年 佐久総合病院東洋内科医長、東洋医学研究所所長。
この間、農林水産省地域おこしマイスター新農業基本法諮問委員をつとめる。
- 1998年 佐久市にて水嶋クリニック開業。

日本東洋医学会専門医、日本温泉物理療法学会温泉療法医。全日本鍼灸学会、日本整形外科学会、日本アレルギー学会、日本心身医学会、ペインクリニック学会等所属。

専門領域は全科におけるプライマリ医学。

◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

医学部に入学し、僻地医療を目指していたため、麻酔科兵頭教授に師事。
在学中の1977年より、鍼灸・漢方の研修を始めました。



◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

一般診療所であるため、様々な疾患の方が来院しますが、
特に癌術後の免疫上昇、難病のコントロール、アトピー性皮膚炎、
こじらせた風邪、関節リウマチなどに効果を発揮しています。

◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

漢方単独群が5割、漢方薬と西洋薬との併用が4割、西洋薬単独が1割。

◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

現代医学の中の一分野として、漢方医学が確立されている。
免疫や自律神経を用いて漢方医学が詳しく解説できるようになっていると良いと考える。

◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なされたことがありますか

アレルギー性鼻炎などに小青竜湯は眠気もこず、
鼻がすっきりしたことがあります。



◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

まず現代医学をしっかり学習してから漢方を志してください。
現代医学の言語で、漢方が語れるようになってください。



◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

漢方は代替医療と考えられていますが、日本では西洋医学を
学んできた医師が漢方の特性と必要性を認識して治療に用いています。

これは世界に誇れる日本独特の医療体制ですので、
貴方が信頼する専門医に相談して、「貴方に合った漢方薬」を捜してください。

◆その他、ご意見ご感想などありましたらお聞かせ下さい

漢方医学、西洋医学それぞれに得意分野があります。
双方をうまく取り入れて病気治療、健康維持に役立ててください。

温故知新。古いものに新しい価値があります。
逆に迷ったときには、まず歴史から学んでみてください。



注意:先生へのインタビューは、当会が2004年2月に行った内容です。